

事務事業評価シート

計画対象年度	令和2年度							
事務事業名	資本的施設整備事業(政策)					事業類型	施設等整備	
予算科目	会計	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令	水道法
総合計画体系	1. 自然の恵みを楽しむまちづくり					計画対象	対象	
	1-2 快適な住環境の整備					市民協働	行政主体	
	1. 上水道 ① 安定した水の供給					担当課係等	上下水道課 水道工務担当	
事業期間	継続							

現状把握の部 (DO)

【目的】 水道事業における水道管の布設、浄配水場施設の整備を計画的に行い、清浄水の供給を図る	【関連事業】 浄水場施設整備事業
【期待される効果】 耐震型水道管の布設及び浄配水場施設のダウンサイジングによる維持管理費の削減に伴う事業経営の健全化	【対象者】 水道利用者
【全体概要】 浄・送・配水施設を新規水需要に合わせて整備するとともに、経年劣化する施設を水道施設更新計画に基づき計画的に修繕・更新する。	【特記事項】
【令和元年度 事業内容】 配水管布設工事 L=445m 下稲吉第2浄水場 電機室築造工事 受変電設備更新工事	【令和2年度 事業内容】 配水管布設並びに布設替工事L=326m 導水管布設工事 L=40.3m 下稲吉第2浄水場 動力設備更新工事
【令和3年度 事業内容】 配水管布設替工事L=620m 下稲吉第2浄水場更新工事 動力設備更新工事 計装・滅菌設備更新工事 霞ヶ浦浄水場更新工事設業務委託一式	

■ 事業費 (決算額については税抜、予算額については税込)

		R1年度	R2年度	R3年度	
財源	国庫支出金	0	0		
	工事負担金	0	10,886	15,761	
	企業債	231,500	52,100	404,500	
	出資金	0	0		
	自主財源	0	0		
歳入計(千円)		231,500	62,986	420,261	
歳出内訳	節(番号 + 名称)	金額(千円)		金額(千円)	
	配水施設工事費				
	委託料	4,450	10,150	8,226	
	工事請負費	28,460	43,208	86,411	
	浄水場施設費				
	委託料	3,110	9,500	24,344	
	工事請負費	185,003	16,874	301,262	
	歳出計(千円) (A)	221,023	79,732	420,243	
	(参 考)	当初予算額	405,751	当初予算額	255,586
	職員人工数	1.35	1.25	1.55	
職員人件費 (B)	10,669	9,755	12,062		
総事業費 (A) + (B)	231,692	89,487	432,305		

■指標

種類	指標内容	単位		R1年度	R2年度	R3年度
活動指標	無し		目標			
			実績			
	無し		目標			
			実績			
成果指標	下稲吉第2浄水場更新工事進捗率 ※H29-R3までの5年間の事業であり完了年度をR3と設定	%	目標	60.00	80.00	100.00
			実績	60.00	80.00	
		%	目標			
			実績			

評価の部(SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	【結論】 ■結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある	【理由】 水道施設を適正かつ合理的に維持管理し、計画的に整備することにより、清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与している。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	【結論】 ■妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある	【理由】 水道法第2条及び第2条の2によるものである。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。 成果が上がらない理由はあるか。	【結論】 ■余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある	【理由】 水道施設の現状把握及び将来予測により策定した水道事業ビジョン及び水道施設更新計画に基づき実施しており特に向上の余地はない。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	【結論】 ■影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	【理由】 水道施設の経年劣化により、清浄にして豊富低廉な水の供給が不可能となり、公衆衛生及び生活環境が悪化する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。 類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	【結論】 ■統廃合・連携できない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる	【理由】 水道施設に係る事業であり、水道事業ビジョン及び水道施設更新計画に基づき実施しており、他の事業との統廃合・連携は不可能である。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	【結論】 ■事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある	【理由】 必要最低限の人員で実施しており、また設計委託事業者と入念に協議し施工しているため削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	【結論】 ■公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある	【理由】 市内で94.8%(普及率)の方が上水道を利用しており、公平・公正である。

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	水道事業は全般的に水道事業ビジョン及び水道施設更新計画に基づき実施しているが、一定期間(5年～10年)ごとに計画の妥当性を検討し、計画見直しを図り、施設の維持管理、状況に応じた工事を実施していく。
------------------	----------------------------	--

一次評価 (課長)	事務事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 記入者: 島田 勝男
	改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 上記のとおり進めていく。
二次評価結果 (部長)	事務事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 記入者: 鈴木 芳明
	担当部長としての意見・考え方 上記のとおり進めていく。

事務事業評価シート

計画対象年度	令和2年度							
事務事業名	資本的施設整備事業(政策)					事業類型	施設等整備	
予算科目	会計	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令	かすみがうら市下水道条例
								かすみがうら市農業集落排水事業施設管理条例
総合計画体系	4. 自然の恵みを楽しむことができるまちづくり					計画対象	対象	
	(1) 快適な住環境の整備					市民協働	行政主体	
	2. 下水道					担当課係等	上下水道課	
① 下水道の整備					下水道工務担当			
事業期間	継続							

現状把握の部 (DO)

【目的】 公共下水道・特定環境保全公共下水道・農業集落排水区域の整備及び処理施設等の維持修繕を行うことにより、霞ヶ浦の水質保全及び生活環境の向上を図る。	【関連事業】 公共下水道整備事業 特定環境保全公共下水道事業 農業集落排水事業
【期待される効果】 公衆衛生の確保と生活環境の改善及び公共用水域の水質保全が図られる。	【対象者】 公共下水道・特定環境保全公共下水道・農業集落排水区域内住民
【全体概要】 本事業は、市下水道事業計画に基づき下水道施設を整備している。また、道路の新設開通などにより新たに必要となる下水道施設についても、柔軟に下水道事業計画を変更し対応する。	【特記事項】 特別会計から公営企業会計への移行に伴い、工事について費用対効果や将来に向けての先行投資を検討し整備を行っていく。また、維持管理費用の対策として農集集落排水処理場を流域下水道や近隣の処理場へ接続し処理場の統廃合を検討していき、汚水処理費用の軽減に努め、公共下水道区域及び農業集落排水区域内汚水の最適処理を実現させるための整備・管理運営をしていく。
【平成元年度 事業内容】 寿命化計画に伴う改築工事(管更生) HP φ 250 L=33.80m DCIP φ 400 L=17.70m 単独汚水管渠布設工事 VU φ 200 L=71.30m	【令和2年度 事業内容】 ストックマネジメント基本計画作成
	【令和3年度 事業内容】 ストックマネジメント実施方針作成 (中継ポンプ場、処理場)

■ 事業費(決算額については税抜、予算額については税込)

		R元年度	R2年度	R3年度
財源	国庫支出金	2,250	1,650	8,200
	工事負担金			
	企業債	6,700		0
	出資金			
	自主財源	1,068	1,650	8,200
歳入計(千円)		10,018	3,300	16,400
歳出内訳	節(番号 + 名称)	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
	委託料	756	3,300	16,400
	工事請負費	9,262		
	材料費			
	用地購入費			
	負担金			
	歳出計(千円) (A)	10,018	3,300	16,400
(参 考)	当初予算額	18,584	当初予算額	3,333
職員人工数	0.95	0.95	伸び率(%)	決
職員人件費 (B)	7,512	7,414		396.97
総事業費 (A) + (B)	17,530	10,714		0.70
				7,782
				24,182

■指標

種類	指標内容	単位		R元年度	R2年度	R3年度
活動指標	長寿命化計画に係る改築工事	m	目標	51.00	0.00	0.00
			実績	51.50	0.00	
	ストックマネジメント計画策定に係る業務委託	件	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	0.00	1.00	
成果指標			目標			
			実績			
			目標			
			実績			

評価の部(SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	【結論】 ■結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある	【理由】 総合計画に基づき下水道の計画的整備を行っている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	【結論】 ■妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある	【理由】 下水道法に基づく下水道事業のため。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	【結論】 <input type="checkbox"/> 余地がない ■見直す余地がある	【理由】 施設の統合等による維持管理費の削減が可能である。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	【結論】 ■影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	【理由】 下水道接続が可能にもかかわらず接続が出来なくなり、公衆衛生の向上が図れない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	【結論】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない ■統廃合・連携できる	【理由】 関係機関との調整を行い維持管理費の削減が可能と考える。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	【結論】 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない ■事業費の削減余地がある	【理由】 施設の統合や維持管理委託の近隣市町村との共同化などによりコストの削減を図る。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	【結論】 ■公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある	【理由】 事業認可の基づき対応しているため公平と考える。

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	今後の下水道運営は、整備から維持管理へとシフトしておりストックマネジメント計画を作成し修繕費の平準化を図り、農集の公共への統廃合を進め経費の節減に努めていく。 また、企業会計に移行したことにより、費用対効果を見ながら整備の判断が必要となる。
----------	----------------------------	---

一次評価 (課長)	事務事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 記入者: 島田 勝男
	改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 上記のとおり進めていく。
二次評価結果 (部長)	事務事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 記入者: 鈴木 芳明
	担当部長としての意見・考え方 上記のとおり進めていく。